

## 教育委員会広報紙 第4号

～吉永地区の学校教育について～

令和4年1月20日発行  
 富士市教育委員会  
 教育総務課 教育政策担当  
 TEL：0545-55-2865  
 FAX：0545-53-8584

富士市教育委員会では、これまで富士市立吉原東中学校の適正化について、様々な方から御意見を伺ってまいりました。皆様の御意見を考慮し、今回、2月21日（月）に行われる「教育委員会会議」において、富士市立吉原東中学校の編入統合に関する方針を審議し、決定してまいります。

### <富士市立吉原東中学校の編入統合に関する方針>

- ・富士市立吉原東中学校は、令和6年4月に富士市立吉原第三中学校へ編入統合する。
- ・令和6年4月に在籍する新2・3年生は一斉に編入する。新1年生については吉原第三中学校へ入学する。
- ・令和5年度末までの吉原東中学校の教育環境を維持するためにも「令和6年4月の編入統合」を理由とした指定校変更はできないこととする。



吉原東中学校は、穆清舎、穆清中学校の流れを汲み、建学の精神「穆如清風」の言葉のもと、吉永地区の子どもたちを育んできました。創立から現在までの70有余年の間に、学校統合案で大きく紛糾した時代があったことは伺っております。こうした地域の教育に対する情熱や思いが、戸塚洋二先生をはじめとする、すばらしい卒業生を多数輩出していく素地になっていったのでしょうか。

吉原東中学校は、縦割活動を学校教育の軸にしたり、総合的な学習の時間に伝統芸能を取り入れたりするなど、工夫を凝らした教育活動が実践されてきました。しかし、昨今の少子化の影響が大きく、こうした工夫を継続していくことさえ難しい程、生徒数の減少が顕著になってきました。

その上、社会はSociety 5.0の時代に進んでいます。世界中にAIやIoTなど、様々な新しい技術が普及し、多様性と日々変化に富んだ生活になると言われますが、どのような世の中になるのか想像できません。ただ、どのような世の中になったとしても、子どもたちが将来幸せに生きるための力を身に付けられるよう、より豊かな教育環境を整えられるのは、今、大人である私たちの務めであると考えております。

富士市立吉原東中学校の適正化に当たり、本市教育委員会では様々な方から御意見を伺うとともに、検討を重ねてまいりました。子どもたちにとって、「充実した学び」とはどのようなものか、そのためにはどのような教育環境が必要なのかを何度も考え、この度、編入統合案を令和4年2月の教育委員会会議に諮ることとしました。

編入統合には、子どもたちはもちろん、保護者の皆様も不安があらうかと思いますが、少しでも不安の解消・軽減ができるよう、教育委員会と学校とで連携し、支援策を具体化させてまいります。各説明会に参加して下さった方々や、御意見をお寄せ下さった方々に、厚くお礼申し上げます。

保護者の皆様や地区の皆様におかれましては、今後とも、吉永地区、原田地区の両地区の子どもたちを見守り、応援して下されば幸いです。

富士市教育委員会 教育総務課

- ・児童生徒への支援策は、「教育委員会広報紙 第3号」を御覧ください。
- ・支援策について、御意見や御要望などがありましたら、富士市教育委員会教育総務課まで遠慮なく御連絡ください。
- ・編入統合案の進捗状況や検討結果については、広報紙や富士市ウェブサイトにて随時お知らせしていきます。

